

令和元年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報告書



日時	令和元年 10 月 19 日 (火) 午後 6 時 30 分～8 時 15 分		
場所	鳥沼会館		
参加者数	28 人		
市側出席者	市長	北	猛俊
	副市長	石井	隆
	総務部長	稲葉	武則
	市民生活部長	山下	俊明
	保健福祉部長	若杉	勝博
	経済部長	後藤	正紀
	建設水道部長	小野	豊
	教育部長	亀淵	雅彦
	企画振興課長	西野	成紀

【市長 開会のあいさつ】

地域懇談会は本日の鳥沼会館が最終日です。雪が降り足元が悪い中、参加をいただき厚くお礼を申し上げます。昨年の地域懇談会は鉄道と新庁舎についてご意見をいただきました。JR 北海道の関係ではアクションプランということで乗車率向上の取り組みと北海道が中心となって関係する自治体が緊急的かつ臨時的な支援を行うということで、富良野市は 150 万円、全体では 2 億円が予算化され JR 北海道の支援に使われています。今年と来年の 2 年間続けて行われますので総額 4 億円の支援となります。この支援は、JR 北海道が運行している旅客の利便性を向上することを目的にしています。この取り組みを基に国が JR 北海道への支援を決めることとなります。自治体が多額の支援をするのではなく、国の抜本的な支援が実現するように努めていきたいと思っております。

新庁舎の関係は、昨年から 1 年をかけて市民説明会やパブリックコメント、関係団体からの意見もいただきながら基本設計に至りました。この後は実施設計ということで内容の検討を加えながら令和 4 年度の運用開始に向けて進めていきたいと思っております。

今日のテーマの「これからの富良野市のまちそだて」は、令和 3 年から始まる新しい総合計画の策定に向けて進めていますが、今年と来年にかけて様々な取り組みを進めながら富良野市にとって、市民にとって有益で意義のあるもの、実現性のある内容にしたいと思っております。今日の地域懇談会でも市民のみなさんが普段の生活の中で疑問に思っていることや良くなってほしいことの意見を出していただきたいと思います。できるだけ多くの市民の意見を総合計画になかに盛り込んで、市民のみなさんにも理解をしていただき納得のいく総合計画に仕上げたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

【懇談会の意見と回答】

市民協働（協働のまちづくり）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○子育て世代は市政に興味がない人が多い。市が何をしているのか知らない。もっと若い人が来る環境をつくってほしい。若い人が来るようなテーマでもっと活発な意見が聞けたら良い。	○市長室トークも開催していますので、ぜひ利用してほしいと思っております。

教育（学校教育）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○学校に行けない子が全国的にも増えている。子どもたちを大切に育てるためにも、学校だけに頼らない地域で出来る対策があれば教えてほしい。</p> <p>○へき地に行くと市街地に通えないのでコミュニケーションが不足する。例えば、地域の農家を利用するとか、そういう対策がしっかりしている自治体なら市外から来る家族も増えるかもしれないので力を入れてほしい。</p>	<p>○市内にも一定程度、学校に行けない子どもがいます。市ではマイクラスという適応指導教室を図書館内に配置して、学校に行けない子どもたちに外に出ることや学校復帰のきっかけをつくっています。市街地のこどもは図書館に通うことができますが、市街地以外の子どもには、地域会館や支所の利用も考えているところです。</p>

福祉・社会保障（高齢者福祉）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○高齢者単独や高齢者夫婦世帯で運転免許証返納や免許持っていない人にバス券やタクシー券の補助はないのか。</p>	<p>○運転免許証返納によるタクシー券やバス券はありません。高齢者の閉じこもり予防としては、公共交通が使えない人を対象に外出支援のタクシー券を交付しています。身体的な状況もありますので、地域包括支援センターに相談してください。</p>

基盤整備（都市空間）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○住宅リフォームの補助があるが、地域会館を直すのには補助がない。地域の集まるコミュニティに対する補助も必要。どこの地域会館も古くなっていて将来的にも地域の住民の負担が大きい。市としても補助を考えてほしい。</p>	<p>○農事組合や地縁団体が使っている小さな会館には補助がありません。会館は使う人が減っていて地域のみなさんも統合について考えてもらう必要があります。会館への補助は課題として検討したいと思っています。</p>

基盤整備（交通体系・公共交通）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○山部で乗合タクシーをしていると聞いた。市で乗合タクシーも考えてほしい。</p>	<p>○乗合タクシーは山部のふれあいサロンで始めたものです。これから高齢化が進む中で、運転免許証返納後の日常生活で病院や買い物を心配している人が多くなっています。市でもバスや JR に乗れない人にはタクシー券の助成をしていますが、民間交通のふらのバスや JR も含めて日常生活を支援してく交通網をどのように構築していくのか、それには民間の協力や市の助成も含めて危機感を持って取り組まなければならないと思っています。</p>

基盤整備（上下水道・河川・道路）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○地盤の軟弱な烏沼地区の道路整備で農免道路をやってもらったが、その他の不陸の強いところだけでも削ってほしい。農業で使うキャタの車軸に負担がかかる。一昨年 40 箇所を図面を出しているのひどいところだけでもやってほしい。</p>	<p>○地盤が弱く舗装道路でも不陸があります。舗装まではいなくても不陸を削ってほしいということもありますが、この地区は舗装率が低いこともあるので、地域と相談しながらほこりおさへの要望もありますので、舗装を進めたいと考えています。</p>
<p>○高齢者世帯の家の前に除雪で硬い固まりの雪を置いていかないでほしい</p>	<p>○道路の除雪は家の前には行いません。玄関先や車の出入口については雪の固まりを置いていかないように気をつけていますが、そういうことがあれば取り除くように対応しますのでご連絡ください。</p>
<p>○毎年道路にグレーダーをかけて砂利を敷いてくれるが、直ぐに穴が空いたり砂利が畑に入る。ほこりが作物に付着するのでできれば簡易舗装をしてもらいたい。</p>	<p>○この地区の舗装率を危惧しているところです。地域のみなさんと話をしながら優先順位をつけて計画をしたいと思います。地域で優先順位をつけた要望書をいただくと進めやすくなりますのでお願いしたいと思います。</p>
<p>○一昨年大雨のときにベベルイ川が氾濫するのではと心配した。ベベルイ川に水位計を付けてほしい。</p>	<p>○河川の土砂浚渫の関係は、河川整備の促進期成会で毎年上川総合振興局に要望書を提出しています。ベベルイ川の水位計は 4 線橋の下流側に付いています。</p> <p>○北海道も平成 28 年の南富良野の洪水があったから水位計を少しずつ増やしていくと話していますので要望していきます。</p>

<p>○この時期の除雪は道路から外れて草も一緒に除雪すると畑に草が入って困る。除雪のポールをもう少し早く立ててほしい。</p>	<p>○除雪ポールは購入時期が遅れたため、立てるのが遅くなりました。次年度は気を付けたいと思います。</p>
<p>○北部地区環境保全会で地域の排水や側溝の土砂上げをしているが、捨て場がないため法面に張り付けている。残土を捨てる場所を確保してほしい。</p>	<p>○残土の捨て場は公共残土も苦慮している状況です。市の管理する側溝の土砂捨て場もありますがあまり受け入れられません。側溝の土砂は水を含んでいるため、水を切った後に近くに均す方法でお願いします。処理施設についてはどれくらい受け入れられるのか検討したいと思います。</p>

基盤整備（新庁舎）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○喫煙室はあるのか。タバコ税もあるので喫煙者にも優しくしてほしい。</p>	<p>○健康増進法の関係で今年の7月から市役所の敷地内ではタバコが吸えなくなりました。文化会館跡地は駐車場になるので、その一角に喫煙スペースを考えたいと思っています。</p>
<p>○駐車場の出入口が2箇所あるが、裏側にはないのか。</p>	<p>○裏側は低くなっているため道路との高低差があるため、車は両側から進入するようになります。</p>
<p>○50cmの嵩上げはどの部分か。</p>	<p>○全体的に平坦になります。駐車場との取り付けは急なスロープにはならない程度です。</p>

<p>○大きな石碑や銅像はどうなるのか。歴史的建造物なので庁舎の周辺に配置してほしい。</p>	<p>○工事中は一時的に仮置きしてまた戻す予定です。その際にどこに振り分けるのかを検討しているところです。</p>
<p>○市の公共事業にかかる費用が大きくなっているが、財政運営に支障はないのか。</p>	<p>○公債費比率は平成 29 年度決算で 7.4%です。今後、令和 8 年度にピークの 11%になると見込んでいます。過去には平成 19 年度に 13%になったことがありましたが、そこまではならないと判断しています。</p>

産業（農業）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○中富良野の国道沿いにワイナリーができたが、富良野のぶどうが流通していることはないのか。ぶどう畑は大切な資源なのでしっかり守ってもらいたい。</p>	<p>○富良野ぶどう果樹研究所では農家とぶどうの栽培契約をしているので、ふらのワインの契約農家のぶどうが、ほかのワイナリーに流通することはありません。</p>

行財政運営（人口）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○外国人労働者の対応や外部から人を取り入れるための富良野の魅力発信が重要。人口が減り続けると学校や病院などの社会インフラが厳しい状況になる。企業誘致も含めて情報の発信が重要になってくる。そうしたことを目指した取り組みをしてもらいたい。</p>	<p>○情報発信については、富良野をいろんな人に注目してもらえよう新年度に向けて考えていきます。</p>

<p>○子育て支援はお祝い事業や予防接種も増えたので助かっている。周りのお母さんたちからは中富良野にはかなわないと聞く。遠くに転出する方は仕方ないと思うが、隣のまちに出ていく人は止められないのかと残念に思う。対策を考えてほしい。</p>	<p>○子育て支援は令和2年度から見直す「子ども子育て支援計画」を策定しています。昨年度アンケート調査をしたところ、1番多い意見は子どもの遊び場です。冬や雨の日に遊ばせる場所がないというものです。医療の充実も出産には必要という意見が多くなっています。遊び場は今ある施設の活用と新庁舎の中に170㎡の面積でつくる計画です。</p>
--	--

行財政運営（組織運営）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○新しい総合計画の策定では、市役所の若い職員や地域の若手のなかにも発想が良い人がいるので、そういう意見をできるだけ取り入れるようなワークショップを開いて、既存の概念にとらわれない新たな発想を生んで新しい総合計画に組み入れてほしい。</p>	<p>○市役所の若者が中心になってワーキンググループをつくって検討しています。あわせて、10月にワークショップを開催し市民100人を集めています。参加者には若い方も多く、若い方の発想も取り入れたいと考えています。</p>

【市長 閉会のあいさつ】

地域の課題や要望は、内容を調査して優先順位を定めながら適宜対応していきたいと思います。

今日の地域懇談会は終わりますが、地域の方々の意見を聞くのはいろんな場を設けていますので、市役所にも来ていただき、ご意見を聞かせていただきたいと思います。

福祉・社会保障（高齢者福祉）

高齢者の移動手段の確保、子どもの教育や子育て支援が出されていましたが、これらは次のまちづくりの大きな課題です。高齢者にとっても子どもや学生にとっても健康で住みやすいまちづくりが大きなテーマになると思います。

行財政運営（人口）

総合計画の策定には若者の意見も必要です。人口は富良野市が維持する目標を定めて、それに向けてどういう施策をしていけば人口を維持できるのかを検討していきたいと思います。その中で、企業の誘致や生活している人に住みやすく、周りから見て住んでみたいと思われるような施策をとることで、富良野に来てもらう。そういう人を増やしていくことを総合計画に盛り込んでいきたいと思います。

市民協働（協働のまちづくり）

総合計画の若者の意見反映は、10月に開催したワークショップで多くの若者が参加し、若い人が進化したこともあり建設的な意見が多かったと聞いています。今日の地域懇談会でもそうですが、意見の出しやすい雰囲気をつくっていくことが必要との意見もありましたので、来年からはそのように対応したいと思います。若い人たちと行政が上手くかみ合っていないという意見もありましたが、若い人には関心のなさもあるかもしれませんが、どうせ言っても聞いてくれないのではないかという意識もあると思います。その意識のずれを埋めていくことから始まるのではないかと思います。ワークショップは12月に2回目があります。総合計画の策定はこの後も動きがありますので、若い人たちの意見が反映できるように、地域の方々の意見も盛り込めるように努めていきたいと思います。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
30-39 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年ありがとうございます。来年度は今年と逆の順で回ってみては。 ・ 市長トークも良いと思いますが、どこかで1回子連れが参加しやすい時間の回を作ってほしい。託児付きでレジャーシート1枚でも良いので遊べる空間があれば若い人たちも参加しやすい。 ・ 市役所は職員からあいさつをしてほしい。 ・ 観光に力を入れるなら旭川空港から富良野方面のバス時間を変更して利便性を良くしてほしい。時間が良ければ市民も利用しやすくなる。
40-49 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2号道路を早く進めてほしい。
40-49 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所に入りやすい、行きたいと思えるイメージや雰囲気 ・ 小さい子どもを育てる家族だけに支援をするのではなく、中・高・大学生を育てている家庭にも支援が必要。
50-59 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しいイベントで人を集めることを考えてほしい。アスパラまつりは面白そうです。 ・ 子どもの成長のために活動している団体をサポートする体制があれば良い。お金だけでなく後援や会場確保などでも良い ・ 楽しいところ、人の集まる場所、お金の集まる場所は活性化されると思う。